



THE Y'S MEN'S CLUB OF AIZU
会津ワイズメンズクラブ
CHARTERED ON FEB. 1993



《 例会 》 毎月第2水曜日 19:00~21:00 若松栄町教会 (☎ 0242-27-3944)

2015~2016 年度主題

International President : Wichan Boonmapajorn (Thailand)
"Mission with Faith" 「信念あるミッション」
Asia Area President : Edward K. Wong (Singapore)
"Through Love, Serve" 「愛をもって奉仕しよう」
東日本区理事 渡辺 孝 (甲府) 主題: 「原点に立って、未来へステップ」
北東部部長 中川典幸 (仙台) 主題: 「今と原点を融合して未来へ」
会津クラブ会長 高橋京子 主題: 「継続は力・手をつないで前へ」

No.247 会津通信
2015年11月11日発行

会 長	高橋京子
副会長	高橋真美
書 記	高橋真人
会 計	高橋真人

◇11月の聖句◇

イエスはこれを聞いて言われた。「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」
マルコによる福音書2章17節

11月例会プログラム

日時; 2015年11月11日(水)19:00~
会場; 若松栄町教会

司会; 青山孝男メン

- | | |
|---------------------------------------|---------|
| 1. 開 会 点 鐘 | 高橋京子会長 |
| 2. ワイズソング | 一 同 |
| 3. 会長あいさつ | 高橋京子会長 |
| 4. 連 絡・報 告 | |
| 5. 聖 句 朗 読 | |
| 6. 食 前 感 謝 | |
| 7. 会 食 | |
| 8. ゲストスピーチ | 片岡 輝美さん |
| 9. Happy Birthday! Happy Anniversary! | |
| - あかべこ - | |
| 10. 閉 会 点 鐘 | 高橋京子会長 |

<10月例会出席状況>

在 籍 者 5名 ゲスト 0名
出 席 者 4名 ネット 0名
*10月例会出席率 80%
あ か べ こ 4,000円
15-16年度合計 11,800円

わたしの責務

高橋 真美

「...また、原発事故によってもたらされた放射能汚染のために、これまで生活していた地域から離れて暮らさなければならない人々の無念の気持ちも深く察せられます」

これは明仁天皇の2012年1月1日新年の感想です。それから4年間新年の感想の中に必ず「放射能汚染により...」と被災者のことを案じる言葉が寄せられています。ということをおわたしは、矢部宏治の

(文)「戦争をしない国」で知りました。2012年の新年の感想は、当時の野田首相による「原発事故収束宣言」から、わずか2週間後に。矢部氏は、このことをこのように記しています。この収束宣言は真実ではなかった。大手メディアもそれを批判しなかった。

「国家の中核にあつて、この原発事故収束宣言にしたがわず、問題がまだ終わっていないというメッセージを断固として発信したのは、ただひとり明仁天皇だけでした。

それでもNHKなどは、明仁天皇が放射能汚染にふれた部分は飛ばして放送した。だから国民には伝わらなかったのです。」と。更に続けます「さらに特筆すべきは、その後、原発災害については政府の報道コントロールによって、だれもが口に出しにくくなっているなか、(略)4年連続、新年の「ご感想」で、はっきりと指摘されていることです。これは「声



☆ 強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う。 ☆

なき人びとの年齢苦しみに寄りそう」ことこそが天皇の責務であるという、強い信念にもとづいたものでしょう」と。

わたし自身、いまの天皇制については全てを容認するわけではありません。しかし、十代にあの戦前の日本、そして敗戦を体験したわたしにとってこの本は新たな挑戦でした。現状をしっかりと認識すること、それは、矢部氏が記したように「状況が根本的に変化したときは、一度本質論に立ち返って新しい戦術を立て直す」ことへの挑戦です。

八十歳を迎えたわたしの最後のしごとが目の前にありました。

ゲストスピーチ

11月にはゲストスピーチ例会で、会津放射能情報センター代表の片岡輝美さんです。

プロフィールは1961年福島県郡山市生まれ。85年片岡謁也氏と結婚。両親が牧会する日本基督教団若松栄町教会への夫の赴任にともない、故郷会津若松へ。2005年、九条の会・会津若松につながる西栄町学習会を結成し、「自分のことばで平和を語る」をモットーに、学習会やピースウォークなどを企画。協会付属事業英会話講師。会津子どもクワイア・会津ジュピリークワイアの世話人。2011年、放射能から子どものいのちを守る会・会津と会津放射能情報センターを設立した。スピーチは会津放射能情報センター内で画像を併用して約45分話していただき、数回にわたり掲載させていただきますのでご容赦ください。

3月11日に、何があったということは私たちは繰り返し見出す時期に来ているようにおもえます。新たに記憶し直すという言い方をしています。3月13日付けの新聞です。福島第一原発の放射能拡散する後の新聞では、大きな爆発している写真を出しながらも重大な損傷の可能性が低い。原発の状況はどうなっているのか、こんなになっても損傷の可能性が低い、政府は危機管理は後手に回って、東電は大惨事を「東電49時間」というドキュメンタリーがあり、その中で東電が何をやっているにかと、東電と本社と柏崎とテレビ電話で繋がって色んなやりとりをしているのだが、本当にどうしようもない。発電所なのにバッテリーがたりないとか、東電なのにどこどこにバッテリーを買いに行きたいが、金がありませんとか、そういうレベルの話をしている本当にあの時、誰がなしていればわからなかった。この一連の新聞の中で“私はこれが



一番くやすい”写真です。

3月16日の県立高校の合格発表の時、雨や雪が降っていて子ども達には何も知らせずに立っていたあの中。この日の空間線量はどの位あったのか！福島市は10時19 μ Sv、郡山市は3 μ Sv、会津若松市は0.4 μ Svになっているほか南相馬は4 μ Sv、こういう数値の中を子どもたちが立っていたということは、やはり、誰かが責任をとらなければならない。(以下次号)

会津クラブ メンの活動紹介コーナー

会津クラブメンバーのワイズ以外での活動を紹介します。青山孝男ワイズです。

会津若松市の国際交流協会日本語ボランティアとして活動しています。在住外国人のための日本語教室は協会主催の教室のみです。クラスは毎週火曜日の日本語サロンと春期及び秋期(昼、夜)があり、学習者の成果発表として「日本語ではなそう」秋期終了後に開催しています。その「日本語ではなそう」のPRのため地元FM局「MF あいづ」で話してきました。

■日本語ボランティアの活動はいかがですか。

・今、日本語クラスも終わりに近づいてきているので私たちボランティアも学習者も最終日までやりたいなあと頑張っています。

■学んでいる生徒さんたちの発表の機会があるそうですね。

・学習者に日本語で、国や日本の文化の違い、生活や家族や友達のことなどを話してもらいます。私達は会津での生活を応援して友達ができればいいなと、今年で第7回、7年目になります。

■タイトルがずばり「日本語ではなそう」ですが。

・当初、どういう内容で始めたらいいのか、スピーチコンテストではなく皆さんが自由に発表できて、私たちも一緒に学習している人たちを知りたいということから、自由に話せるということで「日本語ではなそう」のタイトルにしました。(以下略)



ユニークダンスつばさ

10月の例会は紅葉の裏磐梯散策とホテルでのランチを楽しみました。参加者は少なかったのですが、天候に恵まれ五色沼と達沢の滝を見学。多くの観光客も訪れていました。

◇ 今後の予定 ◇

◆12月例会

12月8日(水)午後7時より 会場 栄町教会
「クリスマス例会」

◆ユニークダンス例会

12月15日(水)午後7時より 会場 アガッセ

